

令和4年度 学校評価報告書（目標設定）

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|---------------------|---|---|--|---|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | <p>①生徒の課題発見能力や問題解決能力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めるため組織的かつ持続的な授業改善に取り組むとともに、専門性の向上を図る教育に重点を置いた教育課程の編成をめざす。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p> | <p>①ICT利活用を主題とした組織的な授業改善を更に進め、生徒が主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、専門性の向上を図る教育に重点を置いた教育課程編成の検証をする。</p> <p>②生徒会を中心とした生徒の主体的な活動を支援し、学校行事の充実を図る。</p> | <p>①日常的な授業見学、年2回の研究授業を継続し、ICTの効果的な活用による授業改善を更に進める。また、新教育課程の生徒が入学し、新カリキュラムの検討を続ける。</p> <p>②体育祭、文化祭、球技大会において安全を第一に運営し、生徒が最大限活動できるよう支援する。</p> | <p>①ICT利活用による授業を実施し、年2回の研究授業・公開授業を行うことができたか。研究協議により、授業改善を進めることができたか。また授業評価の分析や教科ごとの研究協議を行うことができたか。</p> <p>②アンケート等を実施し、生徒の大半が学校行事について満足であるという回答を得ることができたか。</p> |
| 2 | (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | <p>①安心・安全な学校生活を送るための支援体制、指導体制を確立し、豊かな人間性や社会性を備えた人材を育成する。</p> <p>②専門学科の特性に由来する部活動を含め、教育活動における部活動の取組を支援する。</p> | <p>①登下校中の交通安全も含めた安全・安心な学校生活、あるいは専門高校生として望ましい生活態度や身だしなみに関する指導を行う。</p> <p>②専門的知識・技術を指導するとともに、生徒理解を深め、生徒が充実した部活動を行うことができるよう支援する。</p> | <p>①定期的な交通安全指導や身だしなみ指導、講話等とおし、生徒の社会性の育成をはかる。</p> <p>②生徒を理解し専門性を高める支援を行うことで、部活動加入率とともに、途中退部することなく活動を継続する生徒を維持する。</p> | <p>①交通安全指導や身だしなみ指導、あるいは各種講話が効果的であったか。</p> <p>②支援により部活動加入率の維持および部活動を継続する生徒数を維持できたか。</p> |

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|--------------|---|---|--|---|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 3 | 進路指導・支援 | 夢と活力ある産業人材の育成に向けて、専門高等学校の特性を生かし基礎的な知識や技能を体得して、社会的・職業的に自立する人物の育成を図る。 | ①農商併置校としての特性を生かし、インターンシップや農業体験を通じ知識や技能の体得、進路への活用を目指す。 ②学年毎に適したガイダンス等の実施により進路への意識を向上させ、進学や就職に見合う基礎学力やマナーの定着を図る。 | ①本校の特性や生徒のキャリアデザインに即した、インターンシップや農業体験を周知し参加を促す。 ②ガイダンスや説明会等を多様な分野で実施するとともに、キャリアパスポートの活用により、生徒の進路意識を向上、視野の拡張を促す。 | ①就職希望者はインターンシップや校内のガイダンスに参加することができたか。また、農業体験参加生徒にとって、進路選択に有効であったか。 ②進路への意識向上により、進路室の利用が活性化したか。生徒の挨拶やマナーの意識は向上したか。キャリアパスポートは活用できたか。 |
| 4 | 地域等との協働 | ①地域に根ざした様々な産業との連携を重視した教育に取り組むとともに、産業社会に役立ち産業社会の発展に寄与する人材を育む。 ②地域に信頼される学校づくりを推進する。 | ①地域社会との連携を図り、専門性をいかして地域に貢献する人材を育む教育を推進する。 ②地域と協働する場を設け、地域社会と学校が協力できる環境を整備する。 | ①地域の現状を知るとともに、地域社会に貢献していくための連携事業を行う。 ②本校の取組を地域に発信するとともに、地域社会と協働できる場を活用する。 | ①地域社会と連携事業を行えたか。 ②地域社会と協働する場を設けることができたか。 |
| 5 | 学校管理 学校運営 | ①教員の働き方改革を推進するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図るとともに、一層の事故防止に努める。 ②教育環境の整備や学校防災の取組により、生徒・保護者・地域との信頼関係を構築する。 | ①教員のはたらき方改革推進の観点から、各種視聴覚・情報関連の設備や機器が整備され、その利活用に関する研修会等を実施する。 ②防災備蓄品の整備と災害発生時に対応出来る防災教育を計画する。また、教育環境の整備等を行う。 | ①ICT機器の利活用に関する研修会を実施し、全教員が授業等で機器のより有効な利用ができるようになることを目指す。 ②防災備蓄品の整備を行い、職員と情報を共有する。地震と火災を想定した防災訓練を計画する。また、校内美化に努める。 | ①ロイノート等の研修会を学期に1回以上実施する。その成果として、クロムブックの貸出件数が月間で100件以上になったか。 ②防災備蓄品の整備と情報共有が図れたか。計画的な防災訓練の実施が出来たか。また、校内美化を推進することが出来たか。 |